

佐賀市一般廃棄物最終処分場の基本情報

1 何をするとところか

佐賀市清掃工場において廃棄物を焼却した際に生じた灰や茶碗やガラスなどの再資源化できない物を埋め立てる場所
年間、約3,000m³埋め立てを行っている。

2 所在地

佐賀市嘉瀬町大字十五新地籠地内
(国道444号線の嘉瀬新町交差点から南のつきあたり。有明海沿岸)

3 供用開始

昭和56年(約40年間供用している。)

4 埋立容量

450,900m³

5 満杯予定

数年後(焼却灰等の量にもよるが、おおよそ令和7年又は令和8年頃)

6 平成18年～平成20年のかさ上げ工事で確保できた容量

59,600m³ ※まだ供用していない。

7 掘り起こし工事によって、どの程度、容量を確保できる見込みか

第2工区に埋まっている焼却が可能な可燃廃棄物を掘り起こし、新たに15,000m³の容量を確保できる見込みである。

佐賀市一般廃棄物最終処分場平面図

